

決定版!

パラスポーツ 大百科 3



サッカー・野球・
ラグビー ほか

監修 **藤田紀昭** 日本福祉大学教授



 岩崎書店

もくじ

この本に出てくるパラスポーツに関する用語 4

肢体不自由・視覚障がい・聴覚障がい・知的障がい・立位と座位

5人制サッカー 6

- どんな競技? ●クラス分け ●使われる用具【アイマスク/ボール】
- コートイメージ ●試合の流れ ●特別なルール【ノーボイ/2種類のペナルティキック】 ●攻撃のテクニック【サイドフェンスを活かせ! / ボールの音を消せ!】 ●ガイドの役目
- ここが見どころ【静寂と激しさと/高い空間認識能力】



ロービジョンフットサル 14

- どんな競技? ●クラス分け ●特別なルール【最低2人はB2クラス/ B3クラスは腕章/はっきりした色を使う】



7人制サッカー 16

- どんな競技? ●クラス分け
- 特別なルール【スローイン/フリーキック】

アンプティサッカー 18

- どんな競技? ●コートイメージ
- 特別なルール【ハンド/オフサイド/キックイン】
- 華麗なプレー【ボレーシュート】



電動車いすサッカー 22

- どんな競技? ●クラス分け ●コートイメージ

デフサッカー 24

- どんな競技? ●連携のテクニック【手話/ジェスチャー/アイコンタクト】
- こんな競技も▶デフフットサル

知的障がい者サッカー 26

- どんな競技?

ソーシャルフットボール 27

- どんな競技?

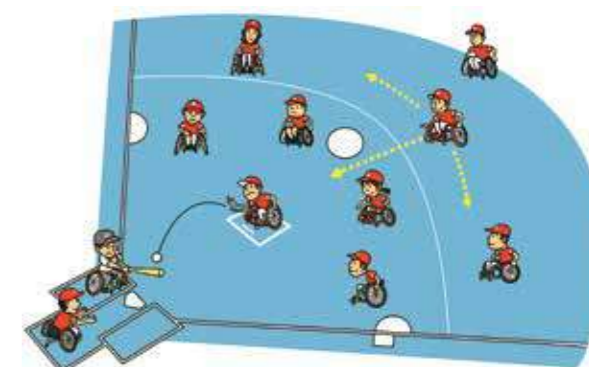


車いすラグビー 28

- どんな競技?
- クラス分け【チーム編成の例】
- コートイメージ【ボール運びの4つのルール】
- 試合の流れ
- 特別なルール【スピニング・ファウル/イリーガル・ユーズ・オブ・ハンド】
- 2タイプの車いす【攻撃型車いす/守備型車いす】

身体障がい者野球 34

- どんな競技? ●グラウンドイメージ
- いろいろな打撃方法 ●華麗なプレー
- こんな「野球」も▶フットベースボール



車いすソフトボール 38

- どんな競技? ●クラス分け ●グラウンドイメージ

グラウンドソフトボール 40

- どんな競技? ●グラウンドイメージ
- 特別なルール【全盲の選手は一目でわかりやすく/走塁専用ベース/捕球/ボールデッド(試合停止)】

観たい! 参加したい!

パラスポーツのイベント 44

- パラリンピック ●デフリンピック
- スペシャルオリンピックス
- 全国障害者スポーツ大会
- 全国身体障害者野球大会
- 体験型ダイバーシティ教育プログラム「スポ育」



さくいん 46

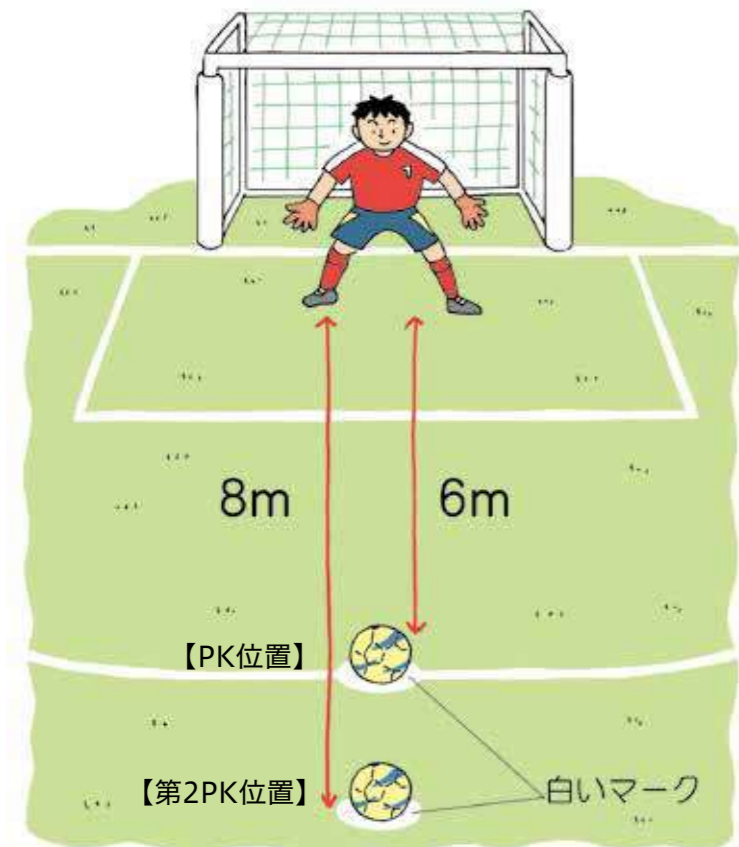
特別な
ルール

5人制サッカーには、
視覚障がい者が行う競技ならではのルールがあります。

●ノーボイ

視覚障がいのある選手同士がぶつかりあうため、5人制サッカーのフィールドプレイヤーには常にけがの危険がつきまといます。

このため、ボールを持っている相手に対して、ディフェンス側の選手がボールを奪いに行くときには、必ず「ボイ！」(スペイン語で「行く」という意味)と声を出さなければならないという、5人制サッカー独特のルールがあります。「ボイ！」と声に出さずにボールを持った相手に近づくと、「ノーボイ」という反則となります。



●2種類のペナルティキック

一般のサッカーやフットサルと同じように、ボールを意図的に手で扱ったり、相手選手にタックルしたりすることは反則になります。その場合には、その場からのフリーキックが相手に与えられます。

これがもしペナルティエリア内で反則があると、【PK位置】(ゴールまで6m)からペナルティキックが与えられます。

また、前後半それぞれでチームの反則が6つを超えたときは、【第2PK位置】(ゴールまで8m)からのペナルティキックとなります。

攻撃の
テクニック

●サイドフェンスを活かせ!

5人制サッカーの大きな特徴であるサイドフェンスは、選手が自分の現在位置を確認する上で活用できるほか、戦術としても重要になります。たとえば、フェンス際でボールをキープしながら攻めたり、フェンスにボールをバウンドさせてパスをつなぐこともできます。ゴールキーパーからは、まずサイドフェンス近くにいる味方にパスを出すことが多くなります。



●ボールの音を消せ!

5人制サッカーは常に「シャカシャカ」と鳴るボールの音を頼りにプレーが行われますが、ボールが空中にあるときには音が鳴りません。

この特徴を使って、たとえばボールを高く空中に浮かせて相手を抜く「シャポー」と呼ばれるテクニックがあります。言わば「消える魔球」で、高い技術が必要になります。



アンプティサッカー

対象となる障がい者



おもに下肢障がい者

どんな競技?

下肢または上肢切断の障がいのある選手によるサッカーです。アンプティとは切断者という意味の英語です。1980年代に、戦争による負傷兵のリハビリの一環として始まりました。

この競技の大きな特徴は、義足などの特別な用具を使わず、ふだんの生活で使っている「クラッチ」と呼ばれる杖をそのまま使ってプレーできるため、気軽に参加できることです。

1チームは性別年齢関係なく7人からなり、基本的に6人のフィールドプレイヤーは下肢障がい者、ゴールキーパーは上肢障がい者がつとめます。40×60mのピッチに少年サッカー用のゴールを

使用し、25分ハーフでゲームが行われます。ルールは一般のサッカーに準じますが、オフサイドがないことや、クラッチを故意にボールに当てるとハンド扱いになることなど、アンプティサッカー独自のルールもあります。

下肢切断の選手たちは、クラッチを器用に使い、華麗なドリブルやシュートを見せます。そのスピード感やプレーの正確さ、連携して相手ゴールに迫る迫力は、決して一般のサッカーに劣ることはありません。

国内では2010年に普及活動が始まったばかりで、まだ歴史の浅い競技ですが、ワールドカップに出場するなど、注目度が高まっています。

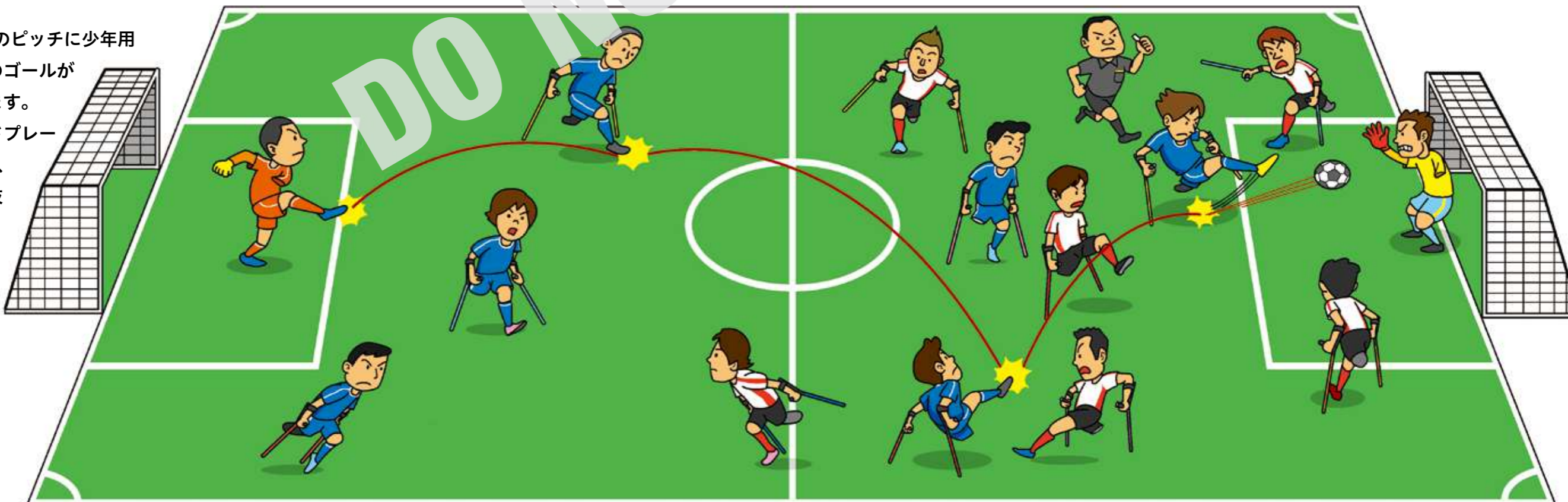


クラッチをうまく使った華麗なドリブルでディフェンスをかわします (写真/アフロ)。

コート のイメージ

40×60mのピッチに少年用サッカーのゴールが使用されます。フィールドプレイヤー

は6人で下肢障がい者、ゴールキーパーだけが上肢障がい者で試合が行われます。



車いすラグビー

パラリンピック
競技

対象となる障がい者



四肢障がい者

どんな競技?

四肢に障がいのある人たちのために考案された競技です。車いすを使用するパラスポーツの中で、ただひとつ、車いす同士の激しいぶつかり合いが許されています。

男女混合で1チームが12人で編成され、4人对4人がぶつかり合います。ルールは単純で、ボールを持った選手がトライラインを通過すれば得点となります。ディフェンスの選手はトライを阻止するために車いすで体当たりします。

この競技ではクラス分けと同時に持ち点制が採用されます。身体の使える機能が多い選手は持ち

点が高く、少ない選手は低い設定で、コート上の4人の選手の合計持ち点が8点を超えてはいけません。これにより、障がいの重い選手が出場する機会が増えることにつながっています。

この競技の見どころのひとつが試合の展開のスピードです。選手の交代に制限がないため、めまぐるしく選手が入れかわります。

そして、もうひとつの見どころは障がいの重い選手の役割。相手の動きを車いすでブロックして、障がいの軽い選手のトライをサポートする動きは、車いすラグビーの醍醐味のひとつになっています。



車いすをぶつけて相手のパスを阻止します。試合中は激しい金属音やタイヤのパンクがたえません（写真/時事通信）。

クラス分け

障がいの程度により、0.5点きざみで持ち点が決まります。持ち点は障がい軽いほど高く、障がい重いほど低くなります。そして、コート上の4名の合計の持ち点を、8点以内におさめなければなりません（女性が入る場合は1人につき0.5点加算OK）。

クラス	対象となる選手
3.5点	軽い 比較的程度の障がいがある。体幹が利く選手が多く、片手でドリブルもできる程度。
2.0点	障がい 中程度の障がいがある。腕の力で車いすの基本的な操作ができ、パスやキャッチも可能。
0.5点	重い 比較的重度の障がいがある。ディフェンスが主で、パスを行うことは少ないが、車いすの操作は可能。

チーム編成の例

このチームの合計持ち点は

3.5点 + 2.5点 + 1.5点 + 0.5点 = 8.0点

女子が出場する場合は、1人につき0.5点の加算が許可されます。

（下のチームの場合、女子2人が入ることによって、4人目に1.5点の男子選手が出場できます）

このチームの合計持ち点は

3.5点 + 2.5点 + 1.5点 + 1.5点 = 9.0点